

平成 30 年度 事業計画及び収支予算

《活動基本方針》

1. メインテーマ

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」（平成 26 年度～）

〈健康寿命〉

- 健康寿命を伸ばし、自立した生活、生きがいのある生活の実現を目指します。
- 仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

〈地域づくり〉

- 他世代や関係団体と連携して安全・安心の住みよい地域づくりを目指します。
- 元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。

2. 第 46 回全国老人クラブ大会宣言事項の実践

高齢化の進展しているわが国では、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる仕組みとして地域包括ケアシステムの構築をめざしています。

本年度からすべての市町村で実施される新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）では、多様な主体による多様なサービスが求められており、老人クラブの活動経験を活かした、積極的な参画が期待されているところです。そのようななか、老人クラブが取り組んできた高齢者が支え合う友愛活動、健康づくり活動は、一層重要性を増しています。行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、すべての人がいきいきと生活できる地域共生社会に向けた取り組みを推進していきたいと思えます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5 年間の 4 年目を迎えています。これまでの先進例に学びながら、組織をあげて、さらなる取り組みの強化に努めます。

メインテーマのもと、次の事項を実践します。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画2. 健康寿命をのぼす「健康づくり活動」、支えあう「友愛活動」の充実3. 老人クラブ「100 万人会員増強運動」の推進4. 「高齢消費者被害防止キャンペーン」の展開5. 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立 |
|--|

3. 重点項目

(1) 老人クラブ「100 万人会員増強運動」の推進（最終年度）

平成 26 年度から 5 年間、全国展開している会員増強運動は、最終年度の取り組みとなる。中間年の昨年では、過去 2 年間と比較して大きく前年会員数から減少している現状を踏まえ、まず現在の会員数の維持に努める。また昨年度同様、次の取り組みを継続・推進する。

- ① 単位クラブは純増を目指す
- ② 解散クラブの防止
- ③ 新規クラブの立ち上げ

(2) 「新地域支援事業」に向けての行動提案

～老人クラブ・高齢者が介護予防・生活支援の担い手に～

介護保険制度の改正により、市町村行政において取り組むこととなった要支援者への新地域支援事業は、移行期間を終えて、すべての市町村で実施されて 2 年目になる。

この新地域支援事業の趣旨をふまえ、老人クラブが行う事業（活動）が、高齢者の介護予防や生活支援に資することへの理解と周知に努め、行政・関係者と連携、協力して事業への参画推進をすすめる。

事業計画

〔公益目的事業〕

1. 老人クラブ等活動推進員設置事業 3,112 千円

老人クラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいと健康づくり、支え合う地域づくりの推進に資するため、老人クラブ等活動推進員を設置する。

2. 健康づくり 2,140 千円

(1) 「高齢者の体力測定」普及・啓発事業 420 千円

高齢期における健康で生きがいのある生活を目指した健康学習や実践活動に加え、自分の体力の状況に強い関心を持つことで健康を維持できるように「高齢者の体力測定」の実施をはかる。また「いきいきクラブ体操」等、高齢者向け体操の普及に資する。

・高齢者の体力測定講習会（健康づくりニューリーダー養成講座公開講座）

「学習」「実践」の活動に加えて自分の体力の状況に強い関心を持ち、健康維持できる「点検」をねらいとする。また、地域に若手リーダーを養成し普及に努める。

開催日：平成30年10月11日（木） [榎原公苑 第2体育館]

対象者：会員及び県内の一般高齢者、健康づくりニューリーダー養成講座受講生

・高齢者の体力測定出前事業

・いきいきクラブ体操出前事業

県老連に登録している「いきいきクラブ体操普及指導員」による出張指導

・軽スポーツ用具および高齢者の体力測定用具の貸し出し

(2) 健康ウォーキング事業 496 千円

健康ウォークラリー大会の実施を通じて、高齢者の健康づくり活動の推進を図り、参加者が健康づくりのリーダーとして健康ウォークラリーの実施方法を学び、地元老連において実施の企画検討を行い、健康づくり活動の発展に資する。また、「健康ウォーキング」を実施する。

・第8回健康ウォークラリー大会

開催日：平成30年11月14日（水）

開催地：榎原市内

主 管：榎原市老人クラブ連合会

対象者：会員及び県内の一般高齢者

健康づくりニューリーダー養成講座受講生

募集チーム数：60 チーム （1 チーム＝男女混合4人1組）

・第5回健康ウォーキング

開催日：平成30年11月9日（金） 場 所：和歌山県「友ヶ島ハイキング」

参加対象者：大椿寿6月号にて募集する、会員及び県内の一般高齢者

(3) 「ならシニア元気フェスタ」開催事業

80 千円

超高齢社会の到来を迎え、高齢者が健やかでイキイキと暮らし続ける健康長寿日本一をめざして、高齢者のスポーツ活動および文化活動の推進強化をはかるため、高齢者のスポーツ・文化活動の「励み」「発表の場」となる交流大会を奈良県・奈良県社会福祉協議会と共催する。

開催日：平成 30 年 5 月 12 日（土）

対象者：県内の一般高齢者等

・総合開会式（9：00～9：30）

会 場：ジェイテクトアリーナ奈良（橿原公苑第1体育館）

・高齢者の体力測定体験コーナー（10：00～15：00）

体力測定の内容や効果の学習をねらいに、交流大会のサブイベントとして高齢者の体力測定体験コーナーを設ける。

会 場：橿原公苑陸上競技場 会議室

(4) ねたきりゼロ運動普及事業

1,144 千円

各種スポーツ大会の実施を通じて「高齢者の世紀」にふさわしい健康づくり、介護予防活動の一層の普及・促進を図ることにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資する。

対象者：会員及び県内の一般高齢者

【開催日・場所・募集人員】

高齢者健康マージャン大会

平成 30 年 7 月 26 日（木）

募集人員 100 人

〔県社会福祉総合センター〕

ゴルフ大会

平成 30 年 9 月 14 日（金）

募集人員 100 人

〔奈良ロイヤルゴルフクラブ〕

ゲートボール大会

平成 30 年 9 月 19 日（水）

募集チーム 60 チーム（420 人）

〔橿原公苑陸上競技場〕

（雨天時）平成 30 年 9 月 26 日（水）

ペタンク大会

平成 30 年 10 月 16 日（火）

募集チーム 64 チーム（192 人）

〔橿原運動公園まほろば広場〕

（雨天時）平成 30 年 10 月 19 日（金）

グラウンド・ゴルフ大会

平成 30 年 11 月 1 日（木）

募集人員 450 人

〔橿原公苑陸上競技場〕

（雨天時）平成 30 年 11 月 7 日（水）

3. 高齢者相互支援事業

1,400千円

(1) 介護人材確保対策推進補助事業（友愛活動員養成）

1,400千円

老人クラブ会員が、各地域における多様な生活支援等のサービスを担う「生活・介護支援サポーター」として活躍できるよう、友愛活動を実践する「友愛活動員」を養成する。

・「友愛活動員」を養成するための研修会を開催

実施期間：平成30年11月～31年2月（県社会福祉総合センター他）

募集人員：60人

新たに「友愛活動」に取り組もうとするまたはより実践地域の拡大及び活動の充実・推進を図ろうとする市町村老連の中からおおむね5市町村老連を選定する（1市町村老連あたり、1単位クラブ4人を1チームとし3単位クラブ12人）

研修会開催：7日間23時間

主なカリキュラム：高齢者福祉施策、介護保険制度、高齢者の心と身体サポートの基本、防犯対策、めざす老人クラブ活動
友愛活動とは、体験学習 等

4. リーダー育成

9,826千円

(1) 健康づくりニューリーダー養成事業（健康づくりニューリーダー養成講座）

700千円

高齢者の健康づくり等を推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資するため、地域における老人クラブ活動を担う新しいリーダー（若手リーダー）が必要とされている。そのため健康づくりと老人クラブの日々の活動に必要な知識を履修する「健康づくりニューリーダー養成講座」を、座学を中心とした「教養コース」と、高齢者向けの軽スポーツを学習する「軽スポーツコース」の2部門開設し、具体的な運営が期待できるリーダーの養成を図る。

・健康づくりニューリーダー養成講座の開講

開催期間：平成30年6月～11月（県社会福祉総合センター他）

受講コース：①教養コース（20.5時間 5日間）

②軽スポーツコース（27時間 6日間）（ウォークラリー大会参加含）

③全課程コース（①、②を合わせたもの）（ウォークラリー大会参加含）

主なカリキュラム：高齢者の健康（身体・こころ等）、軽スポーツ、事故防止等

対象者：各市町村老人クラブ連合会会長から推薦された者

募集人員：各コース 60人

(2) 老人クラブ指導者研修事業

521千円

高齢者の経験、知恵及び能力を社会に活かすべく、地域活動や健康づくり、介護予防活動等に対して協力及び支援ができる者を育成することにより、活力ある長寿社会づくりに資するため「老人クラブ指導者研修会」等の事業を実施する。

・老人クラブ指導者研修会

内容：活動事例発表・「活動賞」「100万人会員増強運動特別賞」の贈呈・講演

開催日：平成30年11月8日（木） [県社会福祉総合センター]

「活動賞」下記の活動の中で特に他の範とするにふさわしい先進的な取り組みを行っているクラブ・老連に対し表彰する。

- ・全国老人クラブ連合会会長表彰（合わせて3団体）
- ・奈良県老人クラブ連合会会長表彰（申請による）

【健康づくり活動】会員または地域の高齢者の健康づくり・介護予防につながる活動

【ボランティア活動】地域における支え合い活動や奉仕活動などのボランティア活動

【その他の活動】世代間交流活動や伝承活動、安全・安心のまちづくり活動など、上記2分野にあてはまらない活動

「特別賞」（100万人会員増強運動特別賞）

「100万人会員増強運動」における年次（または最終）目標を達成したクラブ・老連に対し表彰する。（平成27～31年度）

- ・全国老人クラブ連合会会長表彰（4団体）
- ・奈良県老人クラブ連合会会長表彰（申請による）

・全老連健康づくり中央セミナー

全国老人クラブ連合会の実施する「健康づくり中央セミナー」を受講し、「健康づくり推進員」として育成をする。

平成31年2月20日（水）～22日（金）（神奈川県）

(3) 老人福祉功労者等表彰式

30千円

多年にわたり高齢者福祉の向上に寄与し、その功績が特に顕著であると認められる個人及び団体を顕彰することにより、その活動に報いるとともに今後における高齢者福祉の推進に資することを目的とする。

なお、この事業は奈良県知事が行う老人福祉功労者表彰と合わせて実施する。

式典開催日：平成30年9月13日（木）

場 所：奈良県庁第1会議室

県知事表彰：老人福祉功労者、老人福祉施設功労者、優良老人クラブ

県老連会長表彰：優良老人クラブ、感謝状

(4) 各種大会参加事業

8,200千円

高齢化がますます進むなか、高齢者が生き生きと社会の主要な担い手として活動していくために、老人クラブのリーダーたちが一堂に集い、これまでの活動の成果を点検・評価し、さらに飛躍するための研修会に参加する。

- ・近畿ブロック老人クラブリーダー研修会 平成30年 6月14日(木)～15日(金)

橿原ロイヤルホテル(奈良県)

対象者:市町村老人クラブ連合会や単位クラブにおいてリーダーとして活躍する者

- ・第47回全国老人クラブ大会 平成30年12月4日(火)～5日(水)

沖縄コンベンションセンター他(沖縄県)

対象者:表彰受賞者、県老連役員等

(5) 女性部会活動促進事業

375千円

老人クラブにおける女性リーダーが相互に連携を深め、女性の立場から活動の推進と組織強化を図る。

- ① 市町村老人クラブ連合会の女性部会との連携を図り、情報交換を基に模範となる取り組みを事例研究・討議することを目的とした研修会を開催する。

・女性部会活動研修会

開催日:平成31年1月29日(火) [県社会福祉総合センター]

対象者:会員及び県内の一般高齢者

- ② 研究・討議の成果は、県老連役員会等に積極的に提言をする。
- ③ 「見守り活動」や「仲間づくり」、「会員増強」の推進のため、女性の立場からの情報発信や孤立防止等の友愛活動に積極的に取り組む。
- ④ 高齢者が抱える社会問題について、高齢者の立場から提言し、生活の向上に努める。
- ⑤ 女性リーダーの育成・研修を行う。

5. 一般活動・広報

3,000千円

老人クラブ広報活動促進事業(奈良県共同募金会からの助成事業)

3,000千円

全国的な取り組みや各地の活動事例、高齢者をめぐる社会の動きなど、さまざまな情報を提供する機関紙「大椿寿」の発行。読者投稿の俳句・川柳・短歌・文章の掲載は投稿者の生きがいにもなっている。また、ホームページにより参加事業の告知、報告等を行う。

・機関紙名:「大椿寿」

発行部数:63,000部 年3回(発行月 6月・9月・1月)(会員及び関係者等に配布)

・ホームページ 主な行事予定、事業計画、活動状況等を掲載

・高齢者関連等の資料の貸出し

自己啓発ビデオ及びDVDを充実させ、会員・非会員に関わらず希望者(個人貸出しではなく、団体活動を行う場合)に貸し出す。

【貸出し資料】

- ・自己啓発ビデオ(VHS) *気分爽快!踊るカラオケ、いきいきクラブ体操他
- ・DVD *みんなで楽しく健康づくり、いきいきクラブ体操、全国老人クラブ大会「演じる」
桂枝雀落語全集、やすきよ漫才、綾小路きみまろなど
- ・スポーツ用具*高齢者の体力測定用具セット、ペタンク(ボール)、グラウンド・ゴルフ(クラブ・ボール)、ウォークラリー用ゼッケン、公式ダーツ

6. その他

(1) 会員増強運動推進事業（「100万人会員増強運動」平成26年度～5か年 第5年度）

老人クラブ「100万人会員増強運動」は老人クラブの活動の充実・発展を期して取り組む仲間づくり運動である。超高齢社会が本格化する中、一人でも多くの高齢者が老人クラブの活動を理解し、地域のみんなが強いきずなで結ばれ互いを支え合えるよう推進する。

- ・「老人クラブへのお誘い」リーフレットの配布……平成26年度 30,000部作成

(2) その他

① 調査研究事業の実施

- ・市町村老人クラブ構成員調査

② 市町村老人クラブ連合会との連携、活動の促進

- ・市町村老連正副会長会議の開催

平成30年5月28日（月）

[県社会福祉総合センター]

③ 全国老人クラブ連合会との連携、活動の促進

- ・都道府県・指定都市老連事務局長会議

平成30年7月2日（月）～3日（火）

- ・都道府県・指定都市老連会長・事務局長合同会議

平成31年2月4日（月）～5日（火）

④ 近畿ブロック連絡協議会との連携、活動の促進

- ・定例会 平成30年4月25日（水）・8月上旬・平成31年2月中旬

⑤ 法人・組織の運営

- ・定時評議員会の開催 平成30年5月28日（月）

- ・理事会の開催 （別記 「主な行事予定」参照）

- ・監事会の開催 平成30年4月27日（金）

(3) 全国、関係機関・団体との連携

全国三大運動「健康・友愛・奉仕」及び全国共通目標を全国的に推進する。

① 全国三大運動「健康・友愛・奉仕」の推進

三大運動の各活動について点検をし、新たな活動推進に向けて検討する。

I 地域高齢者の健康づくり・介護予防活動

II 在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動

III 安全・安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動

② 「老人の日・老人週間」の取り組み

「老人の日」(9月15日)と「老人週間」(9月15～21日の1週間)に「仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！」をスローガンに、「健康」「友愛」「奉仕」の全国三大運動の取り組みを中心として、高齢者の意欲と姿勢を地域社会に示す。

・全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)の実施

③ 全国共通目標「老人クラブ21世紀プラン」と活動提案「単位クラブ21」の推進

全国共通目標「老人クラブ21世紀プラン」(平成7年～)の推進と、活動提案「単位クラブ21」(平成12年～)による単位老人クラブの組織活動の強化を図る。

④ 会員の安全対策と連帯意識の高揚

老人クラブ活動中の他人への加害(ケガ・物損)に対応する「賠償責任保険」、老人クラブ会員の活動中のケガと日常生活のケガにも対応する「老人クラブ傷害保険・総合型」、老人クラブ会員の活動中のケガに対応する「老人クラブ傷害保険・活動型」の組織的普及を図り、事故防止と安全対策の推進に資する。また、会員の連帯意識を高め、仲間のしるしである会員章の普及を通じて活動強化をはかる。

I 「賠償責任保険」「老人クラブ傷害保険(総合型・活動型)」の普及拡大

II 「老人クラブ会員章」の普及拡大

⑤ 「新地域支援事業」にむけての行動

老人クラブでは、これまで地域の支援を必要とする会員・高齢者を対象に、声かけ、安否確認、話し相手、ゴミ出し、外出支援等の友愛活動に取り組んできた。その経験を活かし、新地域支援事業の趣旨をふまえ介護予防・生活支援サービスの担い手として、行政や住民・関係者と協働した活動ができるよう取り組む。

⑥ 奈良県人権教育推進協議会との連携

奈良県人権教育推進協議会は、人権教育を研究推進し、基本的人権の確立をめざす地域社会づくりを目的とし活動している。奈良県老連が実施している老人福祉の増進を目的とした事業活動とも繋がる場所が多く連携に努める。

⑦ 関係機関・団体との連携

老人福祉制度・国の政策・高齢者関係予算等に関する必要な提言・意見・要請活動の推進、高齢者に係わる年金・医療・福祉などの社会保障や福祉政策をはじめ、住宅・生活安全・事故防止・防災等の生活課題について、関係機関・団体に対し協力また必要な提言・要望を行う。